



電気化学界面における計測・評価技術の最前線

日時：2025年11月6日(木) 13時00分～17時25分

形式：オンサイト・オンライン ハイブリッドセミナー

オンサイト会場：東京理科大学 神楽坂キャンパス 1号館17階記念講堂（Zoomによる同時配信を行います）

電気化学デバイスの研究開発では、電子・イオンの移動や電気化学反応が実際にどのように進行しているかを明らかにするため、様々な「その場計測法」が提案・実施されています。本セミナーでは、X線解析、分光法、顕微鏡法など、多角的なアプローチで反応機構の解明に取り組む第一線の研究者5名をお招きし、最新の研究成果と今後の展望をご紹介します。最先端の電気化学デバイスの研究開発に欠かせない「その場計測技術」に、ご興味・ご関心のある皆様のご参加を心よりお待ちしております。

2025年11月6日(木)

(13:00～13:05)

◎開会の挨拶

(13:05～13:50)

1. マルチモーダル量子ビーム計測による全固体リチウムイオン電池界面のその場観察と現象理解

東京科学大学 平山 雅章

(13:50～14:35)

2. 実験室型XPSを用いた固液・固固界面その場計測手法の開発

物質・材料研究機構 増田 卓也

(14:35～14:50)

休憩

(14:50～15:35)

3. その場X線CT計測法による電池材料の評価

京都大学 渡邊 稔樹

(15:35～16:20)

4. 高速AFM測定による電極表面のその場観察

北海道大学 松島 永佳

(16:20～16:35)

休憩

(16:35～17:20)

5. その場TEM観察による燃料電池・水電解素材の評価

産業連携機構九州・熊本大学 松田 潤子

(17:20～17:25)

◎閉会の挨拶

主催 電気化学会

協賛：日本化学会、日本分析化学会、日本MR S、腐食防食学会、表面技術協会、高分子学会、電気学会（予定）、応用物理学会（予定）

